

## 渡辺 信一郎

## ◆著作活動

- \* 『中国古代的王権と天下秩序（増訂版）』徐冲訳  
上海人民出版社 2021年4月 264頁
- \* 『中華的成立』岩波新書・中國的歴史①、詹慕如訳  
台湾・聯經出版社、2021年11月 286頁

## ◆講座・講演活動

- \* 2021.11.10. 「封禅祭儀と中華帝国の「平和」  
（愛知大学国際コミュニケーション学部国際教養学  
科2021年度「アジア共同体の平和学」第七回  
統治をめぐる儒家－イスラーム・コネクション（2）  
Online）
- \* 2022.2.17. 「平等院鳳凰堂に響く天上の音楽」  
（2021年度Online伝音セミナー後期第6回）

## ◆委員会

教育研究審議会  
全学人事組織委員会  
全学国際交流委員会  
全学FD委員会  
芸術資源研究センター運営委員会  
キャンパス・ハラスメント防止対策委員会  
移転寄付推進委員会  
安全衛生委員会

## ◆対外活動

黒川古文化研究所理事

## ◆所属学会等

東洋史研究会  
歴史学研究会  
歴史科学協議会  
洛北史学

## 藤田 隆則

役職：教授

## ◆著作活動

- \* 2021.05 共著論文「能楽における「息」の仕組み

（その1）一打楽器の「呼吸」の特徴『人間工学』  
57巻、Supplement号（2021年5月22日）  
（高橋葉子、田中敏文、中川志信、檜垣智也、蔡東  
生、談子駿、大須賀美恵子、鎌倉快之との共著）  
<https://doi.org/10.5100/jje.57.S11-1>

- \* 2021.05 共著論文「能楽における「息」の仕組み  
（その2）－「呼吸」がつくる緩急』『人間工学』57  
巻、Supplement号（2021年5月22日）（高  
橋葉子、田中敏文、中川志信、檜垣智也、蔡東生、  
談子駿、大須賀美恵子、鎌倉快之との共著）<https://doi.org/10.5100/jje.57.S11-2>

- \* 2021.05 共著論文「伝統芸能「能」における間・  
呼吸・拍子不合のデザイン研究』『人間工学』57巻、  
Supplement号（2021年5月22日）（中川志  
信との共著）<https://doi.org/10.5100/jje.57.S11-3>

- \* 2021.05 単著エッセイ「ぶたい *Noh as Intermedia*（インターメディアとしての能）」『楽  
劇学』28号（2021年5月31日）、pp.1-9

- \* 2021.07 単著エッセイ「伝承を科学する一能の  
ワキ僧の資質とは？」『道標（仏教を身近にする伝  
道誌）』2021年夏季号（2021年7月1日）、p.4

- \* 2021.09 単著エッセイ「伝承を科学する一綴  
の錦」を解きほぐす』『道標（仏教を身近にする伝  
道誌）』2021年秋季号（2021年9月1日）、p.4

- \* 2021.12 単著エッセイ「伝承を科学する一霊験  
の視覚化－神仏の使い走りと早笛』『道標（仏教を  
身近にする伝道誌）』2021年冬季号（2021年  
12月1日）、p.4

- \* 2022.03 単著エッセイ「伝承を科学する一能楽  
における「祝言」』『道標（仏教を身近にする伝道  
誌）』2022年春季号（2022年3月1日）、p.4

- \* 2021.05 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身  
体・思想（25）一流相なら今をどのように生きた  
か？」『楽報（都山流楽報）』1145号（2021年  
5月号）pp.2-3

- \* 2021.07 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身

- 体・思想 (26) — 「入門以前」という段階について『楽報 (都山流楽報)』1147号 (2021年7月号) pp.2-3
- \* 2021.09 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (27) — 〈岩清水〉と「南無八幡大菩薩」『楽報 (都山流楽報)』1149号 (2021年9月号) pp.2-3
  - \* 2021.11 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (28) — 遠くに届く強い声へのヒント?」『楽報 (都山流楽報)』1151号 (2021年11月号) pp.2-3
  - \* 2022.01 単著エッセイ「伝統音楽の言葉・身体・思想 (29) — 日本音楽の本質と理想的なあり方」『楽報 (都山流楽報)』1141号 (2021年1月号) pp.2-3
  - \* 2021.11 単著エッセイ「紹介 国立能楽堂開場35周年記念企画展『囃子方と楽器』『能と狂言 (能楽学会機関誌)』19号 (2021年11月5日)、p.129
  - \* 2021.11 単著エッセイ「報告 第三十二回 能楽フォーラム「記譜を通じて能の面白さにせまる— 〈羽衣〉全曲の映像化をテーマにして」『能と狂言 (能楽学会機関誌)』19号 (2021年11月5日)、p.134
  - \* 2022.03 編著『能〈羽衣〉を解剖する』京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター (2022年3月)、171+24 pp. (このうち「はじめに」「おわりに」を単独で執筆、3-1,3-3を高橋葉子と共同で執筆)

#### ◆口述活動

- \* 2021.05.16 曲目解説「采女」(FM 能楽堂) NHKFM 放送(2021年5月16日午前6時より)
- \* 2021.05.23 学会発表「能楽における「息」の仕組み (その1) — 打楽器の「呼吸」の特徴」「能楽における「息」の仕組み (その2) — 「呼吸」がつくる緩急」人間工学会大会 (2021年5月23日) (高橋葉子、田中敏文、中川志信、檜垣智也、蔡東生、談子駿、大須賀美恵子、鎌倉快之との共同発表)
- \* 2021.12.09 講演「やってみよう! 身体で感じとる我が国の音楽 (能楽の部)」芸術系教科等担当

教員等全国オンライン研修会 (中学校音楽科・高等学校芸術科分科会) (河村晴久と共同で担当)

- \* 2022.01.22 司会「京都府伝統文化体験フェスティバル (能楽の部)」宇治市文化センター
- \* 2022.02.06 司会「京都府伝統文化体験フェスティバル (能楽の部)」京都府中丹文化会館
- \* 2022.02.17 講演「やってみよう! 身体で感じとる我が国の音楽 (能楽の部)」芸術系教科等担当 教員等全国オンライン研修会 (小学校音楽科分科会) (河村晴久と共同で担当)

#### ◆プロデュース活動

- \* 2021.05.19 企画と司会「能楽演奏会 (其ノ一) — 下掛宝生流の謡を大倉流小鼓のアシライで聞く」京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、2021年第1回 (57回) 公開講座
- \* 2021.11.24 企画と司会「能楽演奏会 (其ノ二) — シテ方金剛流×大鼓方石井流」京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター、2021年第2回 (58回) 公開講座

#### ◆調査・取材活動

- \* 謡曲・能の囃子の伝承にかかわる調査

#### ◆学内活動

- \* 教育研究審議会委員
- \* 国際交流委員会委員
- \* 附属図書館・芸術資料館運営委員
- \* 人事組織委員会委員
- \* 大学院音楽研究科兼任 (日本音楽研究専攻の授業担当)
- \* 学内非常勤 (担当科目: 音楽学 (前期))

#### ◆対外活動

- \* 神戸女学院大学音楽学部非常勤講師 (2021.09-2022.03)
- \* 同志社大学文学部非常勤講師 (2021.09-2022.09)
- \* 令和3年度文化庁芸術祭審査員 (演劇部門)
- \* 文化庁文化審議会文化財分科会第四専門調査会委員
- \* 所属学会 日本音楽学会、楽劇学会、東洋音楽学会、能楽学会、音楽教育学会、芸能史研究会、International Council for Traditional Music,

## 竹内 有一

### ◆共同研究・競争的資金等の研究課題

- \* 2020.04-2024.03 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究 (B) 20H01205「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」研究代表者
- \* 2020.04-2022.03 令和2年度京都市立芸術大学特別研究助成「崇仁・その祭り囃子・芸大を軸にしたフィールドワークの活性化―地域のワザとの連携の未来をえがく―」研究代表者
- \* 2020.11-2022.03 早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点公募研究「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の基礎的研究」研究代表者
- \* 2019.04-2022.03 日本伝統音楽研究センター共同研究「下京・大学から発信する日本音楽研究」研究代表者

### ◆著作

- \* 2022.03.31 編著『『老の戯言』(注釈)―『都の錦・老の戯言』その三一』(常磐津節の伝承資料に関する調査報告書二〇二一年度、文化庁補助事業)、常磐津節保存会、106pp
- \* 2022.03 報告「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の基礎的研究」(公募研究成果報告)『早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点 Newsletter』12、pp.7、15
- \* 2021.08.31 書籍紹介「安田文吉・安田徳子校注『豊後節系浄瑠璃集』(伝承文学注釈叢書2)」、『東洋音楽研究』第86号、pp.103-106
- \* 2021.08.08 解説「常磐津節の成立と特徴」、『常磐津演奏会』パンフレット、松山錦会、pp.4-5
- \* 2021.05.15 解説「舞踊・長唄：静と知盛」「舞踊・地歌：葵上」「舞踊・大和楽：河」、「出演者素描」(3名)、国立文楽劇場第37回舞踊・邦楽公演『新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会』パンフレット、日本芸術文化振興会、pp.3-6
- \* 2021.09.17 エッセイ「竹内道敬先生の思い出」、『東洋音楽学会会報』113、p.8

- \* 2021.03 解説「Interview : What is so attractive about Hogaku?」、『Gateway to KYOTO' S TRADITIONAL PERFORMANCES』(『和の文化体験の日 邦楽入門の入門』英語版)、pp.14-15 (2020年度補遺)

### ◆講演・口頭発表等

- \* 2022.02.11 企画・解説・司会「崇仁の祭り囃子―もう一つの六斎念仏―」日本伝統音楽研究センター第59回公開講座(オンライン開催)
- \* 2022.03.03 研究報告(鈴木英一氏と共同)「坂川屋旧蔵常磐津節正本板木の基礎的研究(2021年度)」、早稲田大学演劇博物館演劇映像学連携研究拠点成果発表会(オンライン開催)
- \* 2022.02.11 解説「常磐津「角兵衛」について」・対談「女流演奏家の思い出―常磐津文字太夫会長にきく―」、常磐津節保存会第6回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- \* 2021.10.31 司会「研究発表2-B」(研究発表3件)、東洋音楽学会第72回大会(オンライン開催)

### ◆教育・講義

- \* 前期/後期 日本伝統音楽基礎演習 a1~4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \* 前期/後期 日本伝統音楽研究 a1~4、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \* 前期 音楽学特殊研究 h、京都市立芸術大学大学院音楽研究科
- \* 前期 音楽学特講 h、京都市立芸術大学音楽学部

### ◆学術貢献活動

- \* 東洋音楽学会 理事・西日本支部長
- \* 文化庁補助事業「常磐津節の伝承資料に関する調査」(常磐津節保存会)
- \* 常磐津節ほか三味線音楽の伝承・演奏に関わる実態調査(国立劇場・国立文楽劇場・京都南座・大阪松竹座・歌舞伎座・関西常磐津協会ほか)
- \* 常磐津節演奏者個人蔵の記録・譜本・音源資料等の調査
- \* 詞草本出版物(近世版本)等の書誌調査およびデータ作成

#### ◆社会貢献活動

- \* 京都市立芸術大学公式クラブ「常磐津部」顧問・指導
- \* 「崇仁の祭り囃子」伝承支援（崇仁お囃子会）
- \* 2021.11.06 「崇仁の祭り囃子」篠笛演奏とモンゴル楽器合奏補佐、崇仁文化祭（崇仁自治連合会ほか主催、下京いきいき市民活動センター）

#### ◆演奏（常磐津節浄瑠璃方、芸名：常磐津 若音太夫）

- \* 2021.06.06 常磐津節「子宝三番叟」「乗合船恵方万歳」「三世相錦繡文章 長庵殺しの段」「三世相錦繡文章 三社祭の段」、常磐津一巴太夫七回忌追善の会、京都府立文化芸術会館
- \* 2021.08.04 常磐津節「淀川堤狂乱」、NHK-FM「邦楽のひととき」
- \* 2021.08.08 常磐津節「子宝三番叟」「祭りの花笠」「七福神」「お夏狂乱」「うつぼ猿」「娘獅子」「狐火」「三社祭」「菊の栄」、常磐津松山錦会演奏会、松山市民会館中ホール
- \* 2021.08.21 常磐津節「歌徳恵山吹」、常磐津小都の会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- \* 2021.10.09 常磐津節「常磐の老松」（舞踊）、「松島」（舞踊）、国立文楽劇場第 39 回舞踊公演『東西名流舞踊鑑賞会』、国立文楽劇場
- \* 2021.10.20 常磐津節「義積雪子別」、第 29 回常磐津都瓦葺研究会、京都文化博物館別館ホール（令和 3 年度文化庁芸術祭参加公演）
- \* 2021.10.24 常磐津節「夕涼み三人生酔」「菊の寿」、第 80 回常磐津節公演会、関西常磐津協会、京都市国際交流会館イベントホール
- \* 2021.11.06 常磐津節「新山姥」、NHK-FM「邦楽百番」
- \* 2021.12 常磐津節「身替座禅」（歌舞伎）、吉例顔見世興行東西合同大歌舞伎、京都南座
- \* 2021.12.09 常磐津節「うつぼ猿」、文科省芸術系教科担当教員等全国オンライン研修会
- \* 2021.12.18 常磐津節「小夜衣」、無題の会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- \* 2021.12.25 常磐津節「お夏狂乱」「地蔵の道行」、関西常磐津協会特別公演、和歌山県民会館小

ホール

- \* 2022.02.11 常磐津節「角兵衛」、常磐津節保存会第 6 回伝承事業成果発表会、池坊短期大学洗心館「悠々」
- \* 2022.02.17 常磐津節「うつぼ猿」、文科省芸術系教科担当教員等全国オンライン研修会

#### ◆所属学協会

- \* （一社）東洋音楽学会、楽劇学会、藝能史研究会、歌舞伎学会
- \* 常磐津協会、（一社）関西常磐津協会

#### ◆学外委員

- \* 文化庁 文化審議会文化財分科会 第四専門調査会委員
- \* 文化庁委託 伝統芸能用具・原材料に関する調査事業実施業務における委員会委員
- \* 芸術文化振興会 芸術文化振興基金運営委員会 文化団体活動専門委員会委員
- \* 京都市芸術文化特別奨励制度 審査委員会専門委員会委員
- \* 京都市伝統芸能文化復元・活性化プログラム 審査会委員
- \* 京都市伝統芸能文化創生プロジェクト推進会議委員
- \* 崇仁まちづくり推進委員会理事
- \* （公社）文楽協会評議員

#### ◆学内委員・役職

- \* 京都市立芸術大学：施設整備に関する会議、将来構想会議、ギャラリーアクア運営委員会
- \* 日本伝統音楽研究センター：資料委員会 委員長、将来構想委員会 委員長、予算整備委員会 副委員長、移転対策委員会 副委員長、人事組織委員会 副委員長

## 田 鋏 智志

#### ◆著述

- \* 2021・09・10 「競馬節会行幸の舞楽《蘇芳菲・狛龍》から因幡の麒麟獅子舞へ〔二〕」、『日本伝統音楽研究』18号、pp47～64。

#### ◆講演

- \* 2021・12・09 Online 伝音セミナー「『仁智要

録』『三五要録』を聴く 一平安末期の箏と琵琶の音  
世界一」、日本伝統音楽研究センター合同研究室 2  
より Facebook ライブ配信。

#### ◆音源制作提供

- \* 2021・11・05-07 演劇『藤原 HINOMOTO —  
The Squad Announcement —』(プロデュース:  
京都劇場、作演出:村角太洋、出演:The Rob  
Carlton)の劇中音楽担当(古譜再現雅楽ほか)。演  
奏:田鍬(箏・琵琶・笙・羯鼓・太鼓・鉦鼓・録音)、  
伊藤亜希子(龍笛・高麗笛)。曲目(編成):打球楽  
(箏,琵琶,笙トリオ)、合歡塩(笙ソロ ver./箏ソ  
ロ ver./琵琶ソロ ver./管絃打 ver.)、萬歳楽(管  
絃打)、組曲《惑星》第4曲〈木星一快楽をもたら  
す者一〉から(高麗笛ソロ)、勇勝急(琵琶,羯鼓  
デュオ)。

#### ◆調査・奉仕

- \* 2021・08・20 弥勒寺千本燈明会(六斎念仏奉  
仕、奈良県御所市東佐味)
- \* 2022・03・27, 30 日吉大社山王祭真榊神事・  
おいで神事。

#### ◆学内活動

- \* 担当科目:日本音楽史 I (音楽学部)、日本伝統音  
楽研究、日本伝統音楽基礎演習、原典研究日本古典  
(大学院音楽研究科)
- \* 自己点検評価委員会、学生委員会
- \* 大学院修士入試委員会、教務委員会

#### ◆対外活動

- \* 東佐味六斎講(東佐味六斎念仏復興プロジェクト)  
代表

## 武内 恵美子

#### ◆共同研究・競争的資金等の研究課題

プロジェクト研究:儒教と文人の世界観に展開する  
「楽」思想の諸相研究科学研究費補助金

- \* 研究代表者 基盤(C)「江戸時代の藩校における音  
楽教習・楽実践から楽思想構築に至る楽文化の総合  
的研究」(2016 - 2022) 研究課題番号:  
16K03022
- \* 研究分担者:基盤研究(B)「新出コレクション『西

村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽  
の資料学的研究」(研究代表者:竹内有一) 2020-  
2024 年度。

#### ◆著述

- \* 武内恵美子/野田美香「曲目解説」武漢音楽学院演  
奏会、2022年1月

#### ◆講演

- \* 「江戸時代の催馬楽復元と創作—浦上玉堂による平  
安の音楽文化を再現するための試み—」中日音楽比  
較研究及び團伊玖磨先生記念学術シンポジウム、福  
建師範大学、2021年5月18日
- \* 「Music for the Samurai Class during the Edo  
Period -The cases of Hirosaki Domain-」国  
際シンポジウム「雅楽の文化史」カリフォルニア大  
学サンタバーバラ校、2020年6月

#### ◆学内活動

- \* 担当科目:原典研究 I・III、日本伝統音楽演習 BI・  
III、日本伝統音楽演習 BII・IV、日本音楽史
- \* 芸術資源研究センター副センター長、リポジトリ運  
営委員会、ハラスメント防止対策委員会、学術委員  
会、国際交流委員会、情報管理委員会

#### ◆学外活動

- \* 文化庁令和3年度芸術選奨推薦委員
- \* 文化庁令和3年度芸術祭関西音楽部門審査委員

## 齋藤 桂

#### ◆著述活動

- \* 論文「鈴木鼓村『耳の趣味』を読む」細川周平【編  
著】『音と耳から考える:歴史・身体・テクノロジー』  
アルテス・パブリッシング、2021:112-122。
- \* 論文「Heavy Metal Scene in Osaka: Localness  
Now and Then, Bryan Bardine and Jerome  
Stueart eds. *Living Metal: Metal Scenes  
around the World*, Intellect Books,  
2022:124-140.
- \* 書評「真鍋昌賢編著『浪花節の生成と展開:語り芸  
の動態史にむけて』」『東洋音楽研究』第86号、  
2021年8月:91-95。
- \* 映画評「『スターダスト』」ウェブサイト:時事ドッ

トコム、2021年9月。<https://www.jiji.com/jc/v4?id=eigahyo0006>

\* 書評「大和田俊之『アメリカ音楽の新しい地図』」

ウェブサイト：時事ドットコム、2022年1月。

<https://www.jiji.com/jc/v4?id=shohyo0004>

\* 教員リレーコラム「呪怨・サスペリア・ベートーヴェン」『京芸通信』Vol.028、2022年2月。

\* その他、時事通信に洋楽新譜紹介24件。

#### ◆講演

\* 伝音セミナー：藺田郁「曲（芸）弾きを聴く」2022年1月20日。※コメンテーターとして参加。

#### ◆対外活動

\* 日本音楽学会西日本支部委員

\* 所属学会：日本音楽学会、東洋音楽学会、European Association for Japanese Studies

#### ◆科研費

\* 研究代表者：基盤研究（C）「近現代日本における「股旅もの」芸能の研究」2019-2022年度（延長）。

\* 研究分担者：国際共同研究加速基金「東欧の音楽文化に関する民俗学的調査と編曲作品研究」（研究代表者：伊東信宏）2019-2023年度。

\* 研究分担者：基盤研究（B）「新出コレクション『西村公一文庫』の目録作成と江戸時代の日本伝統音楽の資料学的研究」（研究代表者：竹内有一）2020-2024年度。